

ITE中央キャンパス 及び本部棟 新築工事



カジマ・オーバーシーズ・アジア社 ITE中央キャンパス及び本部棟新築工事 プロジェクトディレクター

澤 宏明

Hiroaki Sawa



左/南西より望む全景
右/同夜景



ITEとは

ITE (国立技術教育機関) とは Institute of Technical Education の略で、国立の職業訓練学校の一つです。一九九二年に設立され、シンガポール国内の合計一〇カ所のキャンパスで約三〇、〇〇〇人の生徒が学んでおり、中学校を卒業し高校に進まない生徒のうち約二五% (約一三、〇〇〇人/年) の進学先となっています。ITEでは様々な産業の企業と密接に提携しながら時代のニーズに即した実用的な専門知識や技能を学生達に身につけさせることを狙っています。学生たちは七〇以上のコースから興味や希望に合ったものを選択して、約一〜二年間かけて学びます。卒業後三カ月以内の就職率は九〇%以上で、卒業生は各産業から即戦力として期待されています。また、これらの教育を受けるのに必要な費用の殆どは政府が負担し、個人 (自国民の場合) が負担する学費は、どのコースを選択しても半年で一五三\$ (約一万円) と安く設定されており、シンガポールが国を挙げてITEを通じて人材育成に力をいれていることがうかがえます。

プロジェクトの背景

このように着実に実績を積んできたITEで

カ年計画が策定されました。この方針に基づき二〇〇五年にITEカレッジイースト (当社施工)、二〇一〇年にITEカレッジウェスト (他社施工) の二つのキャンパスが完成、そして今回のITE中央キャンパス及び本部棟はITEの本部機能も兼ね備え、一〇、四〇〇人の学生と一、四〇〇人のスタッフが収容できる最大の施設であり、一〇カ年計画の集大成と言えます。

プロジェクトの概要

今回当社が施工したITE中央キャンパス及び本部棟はシンガポールの地理的中心部で住宅地でもあるアンモキオ地区に立地しています。一〇・六畝の敷地に四階建〜八階建の合計一一棟の建物が配置され、講義室、実習室といった教育施設の他、体育館、陸上競技場、劇場やオフィス、スーパーマーケット等を兼ね備えた、施工延床面積約二八万平方メートルの超大型複合学術施設です。実習施設としては半導体製造のためのクリーンルーム、実機を用いた飛行機メンテナンス施設、銀行業務訓練施設、生花店模擬店舗、メディア実習用の音響・撮影施設など用途も多岐にわたっています。

また施主のITEの方針で、環境に配慮した設計となっており、シンガポールにおける環境



左上/劇場棟・講義棟及び競技場 左下/南東より望む全景
右/中庭吹き抜けエリア

すが、当地では高校や大学に進学できない学生が通う職業訓練学校、という地味なイメージがありました。そこで二〇〇一年にシンガポール政府主導のもと、これまで一〇校に分散していた小規模のキャンパスを最先端かつ大規模な三校に集約することで、これまでのイメージを払拭させるとともに、より魅力的かつ時代に即した幅広い職業教育を生徒に提供するという一〇

評価制度のグリーンマークの最高位 (プラチナ) 取得が要求されました。大規模な壁面・屋上緑化のほか、外装、空調等あらゆる面で省エネや緑化が図られています。

このように盛りだくさん内容の大規模建物ですが、工期は二〇一一年二月から約二〇カ月 (杭工事を除く) という短工期。二〇一三年一月に予定されている開校に間に合わせる必要がありました。

プロジェクトの経過と今後

工事着手後は、二〇一三年の開校という共通の目標に向かって施主、設計を含め関係者全員が一致協力して合理的かつ前向きに工事を進め、無事二〇一二年十月に完成、引渡しができました。

現在は二〇一三年一月の開校にむけてITEによる準備が着々と進められているところであり、開校後にはITEの三大キャンパスの一拠点として、またITE全体を統括する拠点として機能することが期待されます。

シンガポール政府の重要施策の一つである技術教育の充実に寄与できたことは当社としてもこの上ない喜びであり、今後もシンガポールの発展とともに現地のスタッフ、協力会社とともに成長できるよう努めてまいります。